

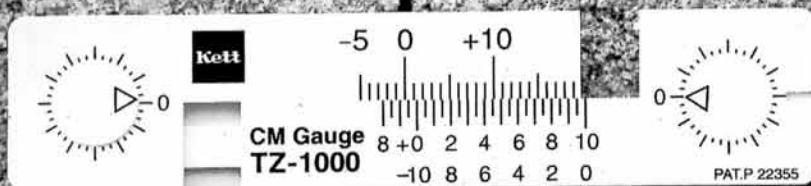
Kett

SCIENCE OF SENSING
測定器のケットです。

TZ-1000

CMゲージ

(クラックムーブメント)

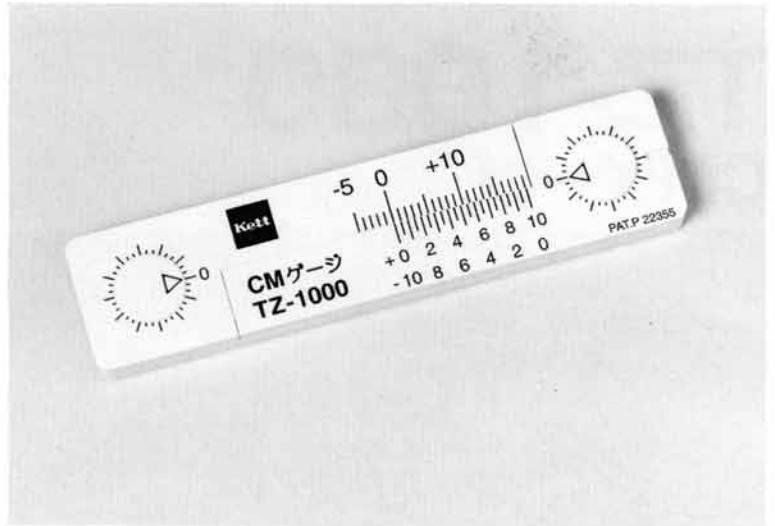


CMゲージ TZ-1000 建築物の壁面、柱などに生じたひび割れの幅や挙動変化を測定できます。

(クラックムーブメント)

TZ-1000は建造物に生じたひび割れの幅、挙動変化を計測する簡易ひび割れ測定ゲージです。対象となるひび割れ上に貼り付け、定期的に計測することで、0.05mm単位の微小な挙動が確認できます。土木、建築構造物の歪み、ひび割れ、目地等の動きを容易に測定できます。

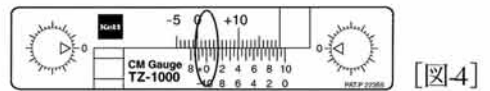
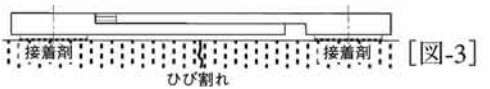
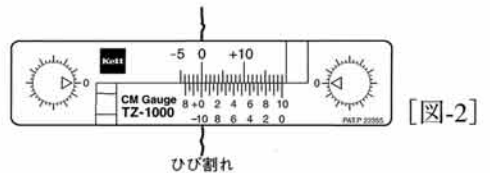
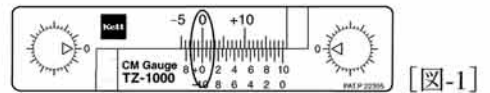
- 取り付けが簡単です。接着剤でひび割れ箇所に貼り付けるだけです。
- 取り扱いが簡単です。ひび割れの幅をゲージで読み取るだけです。
- 定期的な測定で、ひび割れの変化、挙動が正確につかめます。
- 多点測定でも低コストです。5個入と11個入のセットがあります。



取り付け方法

- 1 左右の取り付け台座の三角マークと角度目盛りの '0' を合わせます。
- 2 ベーススケールとサブスケールの0点を合わせます。 [図-1]
- 3 取り付け台座の底面に付属の接着剤を塗り、上記0点をひび割れの中心線と一致させ、ひび割れをまたぐように貼り付けます。ベーススケールとサブスケールは、ひび割れの動きに伴い伸縮しますのでこの変化を後日計測します。[図-2][図-3]

各部の名称



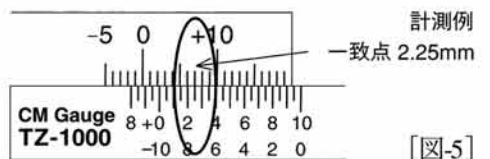
計測方法

- 1 サブスケールの0点がベーススケールのどの位置(目盛り)を示しているかを読み取り、1mm単位の計測をします。 [図-4]
- 2 つぎにベーススケールの目盛りと、サブスケールの目盛りが合致する位置を見つめます。ここで0.05mm単位の数値を読み取ることができます。
- 3 取り付け台座の三角マークで角度変化も計測できます。 [図-5]

注意1. サブスケール上段の数値(+)はクラックの拡大時、下段の数値(-)はクラック縮小時に適用します。

2. 上下の目盛の合致点がベーススケールの19mmを越えている場合は、サブスケールの0点以下の目盛りで合致した位置を読み取ります。

計測範囲 -5mm～5.7mm (分解能0.05mmの場合)
-5mm～19mm (分解能1mmの場合)



株式会社ケット科学研究所

東京本社 東京都大田区南馬込1-8-1 143-8507 TEL(03)3776-1111

大阪支店(06)6323-4581 札幌営業所(011)611-9441 仙台営業所(022)215-6806 名古屋営業所(052)551-2629 九州営業所(0942)84-9011

●この商品へのお問い合わせは上記、またはE-mailでお願いいたします。

URL <http://www.kett.co.jp/>

E-mail sales@kett.co.jp

1207 Design 0201 PDF